

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	華学園栄養専門学校
設置者名	学校法人 華学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
栄養専門課程	栄養士科 昼間部 (2年制)	夜・通信	14 単位	3×2 6 単位	
	管理栄養士科 昼間部 (4年制)	夜・通信	15 単位	3×4 12 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。掲載： http://www.hana.ac.jp/common/pdf/info_kamoku_e.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	華学園栄養専門学校
設置者名	学校法人 華学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校事務窓口にて、閲覧希望者に開示する。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(学)総合大学常任監事	2019.6.1～ 2022.5.31	学園全般に対する 専門的な知見
非常勤	(公財)歯科衛生研究所 理事・同研究部長	2019.6.1～ 2022.5.31	学園全般に対する 専門的な知見
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	華学園栄養専門学校 ・栄養士科 昼間部 (2年制) ・管理栄養士科 昼間部 (4年制)
設置者名	学校法人 華学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書(シラバス)の作成】 科目名、対象学年、単位数、開高時期、履修方法、講師名、到達目標、授業方法、評価方法、使用教材、単元毎の到達目標・授業内容・到達度確認の項目を記載した学内統一様式で授業計画書を作成している。 作成時期は4月の新年度開始に向け、2～3月(各教員からの提出後、教務課にてチェック)に行っており、3月下旬に担当教員を集めた「教職員会」を実施し点検他科目間の摺り合わせ等を行い最終調整としている。</p> <p>【授業計画書の公表】 授業計画書は、4月上旬に本校ホームページにて栄養士科・管理栄養士の授業科目等の概要(科目名、授業科目概要、対象学年・開高時期、単位数(授業時数)、授業方法、企業との連携等)を公表している。 また、学生が4月上旬に常時閲覧できるように教室内に授業計画書ファイルを設置して周知徹底を図っている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>掲載：</p> <p>http://www.hana.ac.jp/common/pdf/syllabus_01_2021.pdf http://www.hana.ac.jp/common/pdf/syllabus_02_2021.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則において評価・終了の認定について規定している。 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験(定期試験、追・再試験等)および、学習評価(実技試験、確認試験、中間試験、作品審査会、レポート・報告会発表会、評価会)等により総合的に勘案して行ない、成績評価基準に基づいて評価・修了の認定を行っている。 また、授業を欠席した場合はレポート等を課しており、このレポートの未提出者や授業の3分の1を超えて欠席した者は、定期試験の受験資格を与えていない。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【成績評価の基準】

学業成績は、科目ごとに行う試験等により評価される。評価基準は下記の表に基づき行われる。

評価	評価基準点	単位付与	備 考
S	90 以上	合格	科目の目標を完全に到達している。
A	80～89	合格	科目の目標を十分に到達している。
B	70～79	合格	科目の目標を概ね到達している。
C	60～69	合格	科目の目標を最低限到達している。
F	60 未満	不合格	科目の目標を到達していない。
認	—	合格	他学校・他学科等で習得した単位の認定。

【成績分布状況の把握】

客観的な指標の算出は成績管理システムにより、履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均点を算出

【成績評価方法の公表】

本校ホームページで公表及び入学時オリエンテーションで学生に周知徹底を図っている。

客観的な指標の算出方法の公表方法	掲載： http://www.hana.ac.jp/common/pdf/info_seiseki_e.pdf http://www.hana.ac.jp/common/pdf/info_seiseki_k.pdf
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【卒業の認定方針(ディプロマポリシー)の策定】

本校が厚生労働大臣指定の栄養士養成施設(管理栄養士養成施設)であるため、栄養士法に基づいて策定した教育方針を到達することを卒業の認定方針(ディプロマポリシー)として定めている。

卒業認定は、本校学則に基づく本校所定の課程を修了した場合に認定している。

【公表】

学生便覧による掲示、本校ホームページにより公表

【適切な実施に係る取組】

卒業要件は、本校が定める所定の全授業科目を所定の年次にすべて修得することを定めている(「学則」及び「履修に伴う規定」等ホームページにて公表)。学生に対しては入学時オリエンテーションおよび学生便覧により周知徹底を図っている。成績判定及び単位認定については判定会議にて決定しており、さらに自己点検・自己評価、職業実践専門課程の各委員会による審査にて適正を図っている。

卒業の認定に関する方針の公表方法	掲載： http://www.hana.ac.jp/common/pdf/info_sotugyou_e.pdf http://www.hana.ac.jp/common/pdf/info_sotugyou_k.pdf
------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	華学園栄養専門学校
設置者名	学校法人 華学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	掲載： http://www.hana.ac.jp/common/pdf/info_taisyakutaisyo_2021.pdf
収支計算書又は損益計算書	掲載： http://www.hana.ac.jp/common/pdf/info_syushi_2021.pdf
財産目録	学校事務窓口にて、閲覧希望者に開示する。
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		栄養専門課程	栄養士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	70 単位時間 / 単位	42 単位時間 / 単位	1 単位時間 / 単位	16 単位時間 / 単位	4 単位時間 / 単位	1 単位時間 / 単位
			単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		187人	2人	9人	11人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公開】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公開】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公開】の4. を参照
学修支援等
（概要）入学直後、基礎学力試験を実施し、基礎力が不十分な学生には補講課題を実施する。 全授業15回のうち7又は8回目の授業終了後、終了時点まで授業内容の中間確認試験を実施し、学生の理解度を確認する。随時、担任及び副担任または学科長が同席して学校生活や進路指導等の面談を行っている。また、希望者には放課後の学修支援（補講等）も適宜行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
82人 (100%)	6人 (7.3%)	69人 (84.2%)	7人 (8.5%)
(主な就職、業界等) 病院、高齢者施設、学校給食、保育所、事業所等の集団給食業務、食品会社 一般飲食店			
(就職指導内容) 履歴書・エントリーシート添削、作文試験添削、模擬面接指導、マナー講座、 個人面談			
(主な学修成果（資格・検定等）) 栄養士免許、食育栄養インストラクター、普通救命講習			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
183人	10人	5.5%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による就学継続困難、学力意欲低下（学力不足、出席不足） 進路変更、家庭の事情、病気（精神的理由）		
(中退防止・中退者支援のための取組) 前期及び後期に1回、担任および副担任が面談を行い、修学上の不安事項や問題点 について相談を行っている。また、適宜本人の希望に応じて、学科長や教育部長同席 の面談も行っている。 一つの科目の欠席が3回を超えた場合、保護者宛のその旨を文書で通知し、保護者 からの学修支援への協力を依頼している。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		栄養専門課程	管理栄養士科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	150 単位時間/単位	106 単位時間 /単位	18 単位時間 /単位	17 単位時間 /単位	5 単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		134人	0人	16人	19人	35人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公開】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公開】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公開】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業15回のうち7又は8回目の授業終了後、終了時点まで授業内容の中間確認試験を実施し、学生の理解度を確認する。随時、担任及び副担任または学科長が同席して学校生活や進路指導等の面談を行っている。また、希望者には放課後の学修支援（補講等）も適宜行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
42人 (100%)	0人 (0%)	41人 (97.6%)	1人 (2.4%)
（主な就職、業界等） 病院、高齢者施設、学校給食、保育所、事業所等の集団給食業務、ドラッグストアー			
（就職指導内容） 履歴書・エントリーシート添削、作文試験添削、模擬面接指導、マナー講座、個人面談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 栄養士免許、管理栄養士国家試験受験資格（管理栄養士免許） 普通救命講習、食育栄養インストラクター、			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
134 人	7 人	5.2%
(中途退学の主な理由) 学力意欲低下(学力不足、出席不足)、進路変更、病気(精神的理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 前期及び後期に1回、担任および副担任が面談を行い、修学上の不安事項や問題点について相談を行っている。また、適宜本人の希望に応じて、学科長や教育部長同席の面談も行っている。 1つの科目の欠席が3回を超えた場合、保護者宛のその旨を文書で通知し、保護者からの学修支援への協力を依頼している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
栄養士科 1年次	200,000円	650,000円	450,000円	
2年次	0円	680,000円	470,000円	
管理栄養士科 1年次	250,000円	680,000円	500,000円	
2年次	0円	720,000円	500,000円	
3年次	0円	740,000円	500,000円	
4年次	0円	740,000円	500,000円	
修学支援（任意記載事項）				
・創立者 坂本静子・愛子奨学金制度〔特待生制度〕 他				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度の評価について、学校HP公開している。 http://www.hana.ac.jp/common/pdf/info_jikohyouka2021_e.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
評価項目は「専修学校における学校評価ガイドライン」に従い、基準1から基準10までの項目とし、主に教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の募集と受入についての評価を行っている。 委員の定数は6名で、選出区分は高等学校関係者、業界関係者及び卒業生などから構成される。 委員会は年2回（5月と11月）実施し、5月は前年度の評価を、11月は当該年度の進捗状況に沿った評価を行っている。 評価結果より見出された改善事項については、その改善に要する時間から長期、中期及び短期項目に分け、学校長が責任者として適宜改善を図っている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
中学・高等学校 校長	2021.4.1 から 2022.3.31	高等学校関係者
受託給食会社 事業部責任者	2021.4.1 から 2022.3.31	企業
受託給食会社 取締役	2021.4.1 から 2022.3.31	企業
受託給食会社 常務取締役	2021.4.1 から 2022.3.31	企業
大学病院 栄養部課長	2021.4.1 から 2022.3.31	企業
高齢者福祉施設 勤務	2021.4.1 から 2022.3.31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HPで公開している。 http://www.hana.ac.jp/common/pdf/info_hyouka2021_e.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://hana.ac.jp/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	華学園栄養専門学校
設置者名	華学園栄養専門学校 ・栄養士科 昼間部 (2年制) ・管理栄養士科 昼間部 (4年制)

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		29人	29人	29人
内 訳	第Ⅰ区分	11人	-人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				-人
合計 (年間)				30人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	-人
計	0人	0人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-人	-人	-人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	-人	-人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。